これは、[illegible]の会長さんの写真です。

とりもどそう きれいな 水通（すいどう）

これは、[illegible]の会長さんと、ぼくたちの写真です

コイがどうしているの

水通は、上町にある水路です。水通は、電車通りから、一つ南の通りにあります。
水通には、今のようにコイや金魚はいませんでした。
今の中学一年生が６年生のときの総合の時間に最近の水通はきたないことに気がつきました。
そこで、中一の人たちが、「旅館」である[illegible]の社長さんにメダカを放してほしいと、頼みました。
なぜ社長さんにお願いしたかは、社長さんも水通をきれいにしたかったからです。
しかし、社長さんは、コイを放したかったのです。コイが大きくなったら、コイのことを大切にして、ゴミを捨てられないと思ったからです。それとコイは「もし」を食べるので、水通をきれいにしてくれます。その様なことを社長さんが考えていました。
そこで、前橋市市長さんが小学生はメダカ、社長さんはコイを放したいと言っている時、「メダコイ川にしたらいい」と、言ったので、どっちも放すことになりました。
そして、「ごみをすてないで」と、小学生が書いた看板もたてました。
[illegible]の社長さんの願いは、観光客の人たちに、きれいな水通を見てもらうことだそうです。そこで、空き缶拾い、草むしり、ごみ拾いなどを自分や社員でやっています。

このようなことがあったので、いまの水通には、コイや金魚　めだかがいるのです

今の水通にいるコイ

今と昔の水通のちがい

昔の水通は、もともとお殿様の飲み水として使われていたので、とてもきれいでした。
その水を利用して、おいしいお酒が作れました。だから、酒作りの職人さんたちがたくさん住んでいたそうです。
また、布をそのたり刃物を作る時も、そのきれいな水通の水を使ったのでいい品がつくれました。そのため、呉服屋や鍛冶屋、紙屋などが多くありました。
今は、昔と違ってきたなくなっています。それは、戦争が終わった後、水道ができて、水通の水をくみに行く必要がなくなったので、使うのをやめました。
今は、水通と呼ぶ人と、升形川と呼ぶ人がいます。
それでも、昔のよさを残そうと名前をみんなに水通と呼んでもらおうとしています。

今の水通の写真

今の水通付近の地図

青色の線をひいている場所は、水通です。

今の水通をきれいにするためにぼくたちにできること

中一の人達もやったように看板を立てたり、よびかけをしたいです。
ゴミを捨てている人がいたら注意してください。
水通をきれいにしたい人にたのんで、ゴミ拾いを協力してもらいたいです。
また、水通の周りに花を植えようという話しもあるので、そのときは参加したいです。

Top